



あしたのために

令和3年10月25日
東京都立立川ろう学校長
村野 一臣

高校生の就職活動と企業が求める力

高校生の就職活動は、行政・主要経済団体・学校組織の三者による協定によってルール化されています。企業は、高卒採用のルールを理解した上で活動を行うことが求められています。

都道府県や高校によっては、年間のスケジュールが若干異なる場合がありますが、全体的な活動スケジュールはほとんどが以下のような流れになります。

<2022年3月卒の新規高等学校卒業生の採用選考スケジュール>

- 6月1日 ハローワークによる求人申込書の受付開始
- 7月1日 企業による学校への求人申込及び学校訪問開始
- 9月5日 学校から企業への生徒の応募書類提出開始
- 9月16日 企業による選考開始及び採用内定開始

上記のスケジュールに合わせて、学校としては以下の活動を行っています。

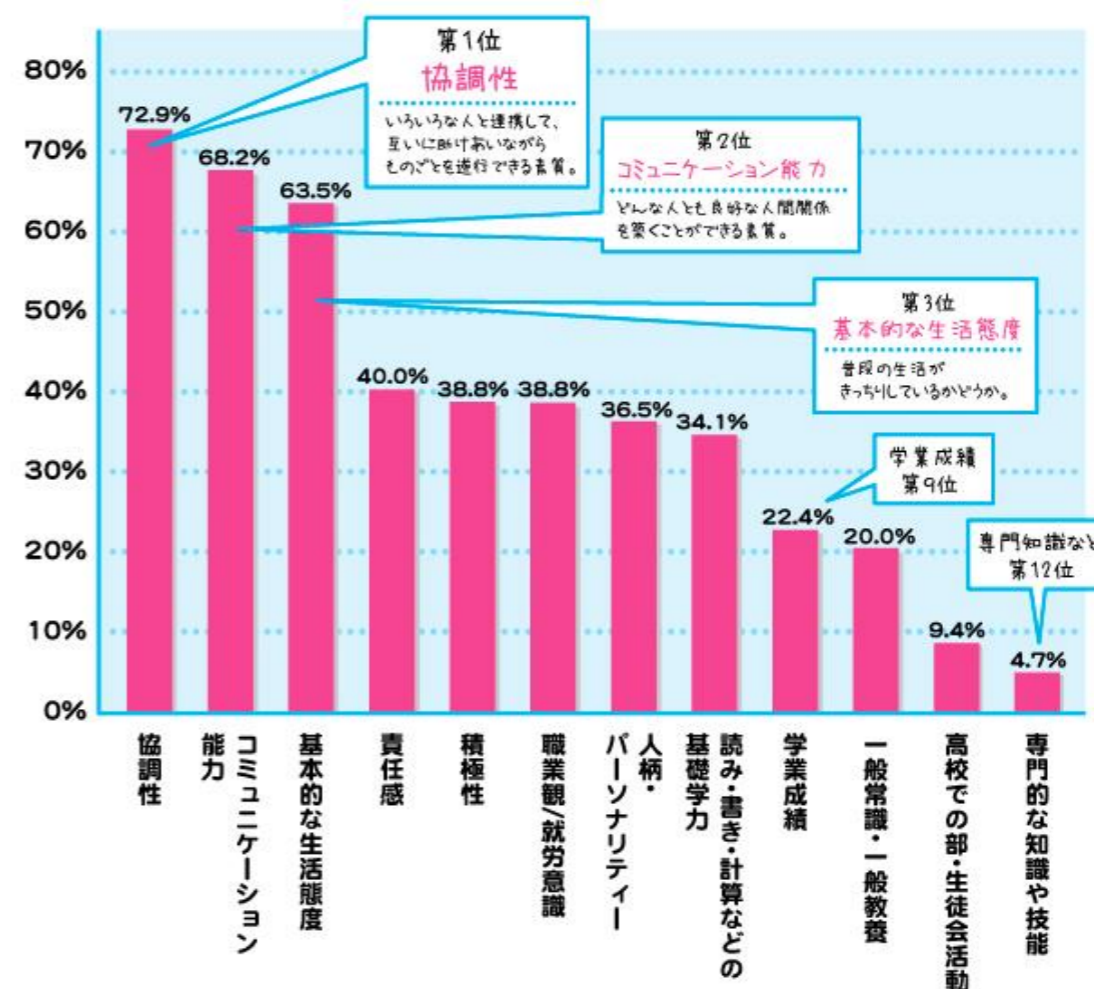
- ～4月 生徒・担任・進路で面談（候補の会社を確認する）
- 3月～ 希望する会社の見学（会社の雰囲気、採用に関して確認する）
- 5月～ 採用に向けての実習（1週間から2週間の実習を行う）
- ※この実習の評価が良ければ応募に向けて動く
- 7月～ 求人票で雇用条件等の確認（必要があれば保護者に説明する）
求人票確認後、履歴書等の作成と面接練習
- 9月 5日から必要書類を会社に郵送または手渡し
16日から選考試験受験（webによる適性検査実施する会社もあり）
選考から7日程度で結果の連絡

高卒採用のルールには「一人1社制」があります。このルールがあるので、面談、会社見学、実習がとても大切になります。

この流れで活動を行い、9月中に内定を頂いている生徒がいます。採用が内定した生徒には、企業から内定通知書や入社承諾書、誓約書が送られ、少しずつですが、社会人生活に向けて準備が始まっています。

ここまでは、就職活動の流れを説明してきました。ここからは「企業が採用した高校生」に関してです。右のグラフは、一般社団法人 日本経済連合会が実施した、「新規高校卒業予定者の採用に関するアンケート

調査」の結果になります。（引用：高卒求人.com）



学業成績ではなく、上位3つは「協調性」「コミュニケーション能力」「基本的な生活態度」となっています。理由を考えてみましょう。会社に入ると、同期の社員、上司や先輩、取引先など、いろいろな人と関係を作らなければいけません。一緒に働く仲間なのに、周りに溶け込まず、自分勝手な行動をする人がいると、会社の雰囲気も悪くなってしまいます。成績が優秀でも、会社はそんな人は採用したいと思いません。会社は1つのチームです。チームである以上、何よりもチームワークが大切になります。そのためには、「協調性」「コミュニケーション能力」が採用において重要になってきます。

今後の学校生活では意識してほしいこと

- 時間を守る
- 言葉遣いに気をつける
- 呼ばれたら返事をする
- あいさつをする
- 正直（素直）なこと
- 皆で協力して物事を進める

企業が求める「協調性」「コミュニケーション能力」「基本的な生活態度」は、社会人にとって基本中の基本です。基本を身に付けるには、まずは上記の内容が必要不可欠です。高等部だけではなく、幼稚部の段階から少しずつ身に付けられるよう、意識しておきましょう。